

柳澤 健(編)

「理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト 4 整形外科系理学療法学」

磯崎弘司

(了徳寺大学健康科学部理学療学科)

この度、理学療法専門分野をすべて網羅した『理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト』(全7巻)の「整形外科系理学療法学」が発刊されました。

骨折・変形性関節症・筋骨格障害・スポーツ外傷などの整形疾患に対する理学療法は、リハビリテーション対象疾患の約半数を占めています。理学療法士は医療・福祉施設のみならず在宅リハビリテーションにおいても何らかの整形疾患をもつ方の治療に数多く関わっています。

整形外科に対する理学療法の成書は古くから多く出版されています。その多くは疾患別の整形外科後療法の紹介、理学療法評価、それに基づく運動療法について記載されたものです。具体的な理学療法においては、動画も出版され若い理学療法士に好評のようです。本書はこれら成書の基本的な部分を網羅し、それに加えて医学基礎および運動療法の基礎、原理について解説されています。理学療法の基礎・原理をわかりやすく

解説したうえで、当該疾患に対する運動療法を理解する形で展開されています。この点は理学療法を学ぶ学生にとって大変重要な点であり、理学療法に対し科学的な評価・治療の考え方の礎を作る重要な点であると思われます。

本書では随所に“Check Point”があり重要な要点が簡潔にまとめられています。他にも“用語アラカルト”による専門用語の説明，“MEMO”による臨床に役立つ解説，“エピソード”，“Case Study”では実際の症例紹介、章の最後には“まとめのチェック”が記載され知識の整理として活用できます。各章は要点を簡潔にまとめ、図表・イラストが多く現在の学生にとって親しみやすい工夫がされています。このようなことから本書の分量と内容は理学療法を学ぶ学生にとって最適と思われます。

EBPT が提唱され浸透しつつある現在において、教育場面でも臨床場面でも科学的な根拠に基づく理学療法が展開されています。本書は、科学的根拠に基づく基礎や原理により展開されています。本書の内容がこれから理学療法を学ぶ人たちにとって共通常識となることを望みます。

●B5 判・352 頁

定価 5,040 円(4,800 円+税)

2009 年 メジカルビュー社・刊